

会 議 録

会議名称	令和7年度第2回垂水市介護保険運営協議会	
開催日時	令和7年11月14日(月)	午後4時から午後5時まで
開催場所	垂水市市民館 大ホール	
委 員 出 席 者	大隅地域振興局保健福祉環境部長 四元 俊彦 (代理出席 大隅地域振興局地域保健福祉課長 栗栖 隆典)	
	医療法人浩愛会 理事長 池田誠	
	垂水市立介護老人保健施設コスモス苑 施設長 福本 伸久	
	垂水市社会福祉協議会 会長 谷口 敏徳	
	垂水市民生委員協議会 副会長 北迫 千代子	
	垂水市立介護老人保健施設コスモス苑 支援相談員 池田 正樹	
	養護老人ホーム 垂水華巖園 計画作成担当者 川越 千恵美	
	地域住民代表(中央・水之上・大野地区) 中馬 吉昭	
	地域住民代表(協和地区) 小瀨 栄子	
	地域住民代表(牛根地区) 津曲 弘子	
委員以外 の 出 席 者	介護保険サービス利用者の家族代表 前田 政博	
	第二号被保険者代表 池田みすず	
	福祉課長 新屋 一己 福祉課地域包括ケア係 市木秀俊係長、平嶺絵里加保健師、平石明子主任ケアマネ、上久保則雄社会福祉士 福祉課介護保険係 前田恭仁子係長、前田康晴副主幹、小池誉主査	
会議事項 等	1 開 会 2 福祉課長あいさつ 3 議 題 (1) 第10期介護保険事業計画策定のスケジュールについて (2) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、高齢者等実態調査について (3) 本市の介護保険事業の特徴について (4) 高齢者自立支援施策の進捗状況 4 その他	
会議の経 過	発言者	意見等
	事務局 (前田)	定刻になりましたので、ただ今から、「令和7年度第2回垂水市介護保険運営協議会」を開催いたします。早速ですが資料をご覧ください。会次第に沿って、進めたいと思います。 それでは、会次第2の「開会のあいさつ」にまいります。福祉課長の新屋が開会のあいさつを申し上げます。
	課長	あいさつ
	事務局 (前田)	本日は、鹿児島県大隅地域振興局保健福祉環境部長の四元委員に代わりに、鹿児島県大隅地域振興局地域保健福祉課長の栗栖様が出席されていますので、ご報告申し上げます。 本日は、委員14名中12名の委員が出席しておりますので、垂水市介護保険運営協議会設置要綱第6条第2項の規定により、本会議は成立していることを報告いたします。なお、児玉委員・上村委員は欠席のとなっております。 それでは、早速ですが議事に移りたいと思います。要綱第6条第1項の規定

会議の経過		により、以降の議事の進行を、池田会長にお願いいたします。
	会長	(議長席へ移動) みなさん、おつかれさまです。会長を務めます池田です。本会議がとどこおりなく進行できますよう、みなさまのご協力をよろしく申し上げます。 それでは、会次第3の「議題」にまいります。議題(1)「介護保険事業計画策定のスケジュールについて」と議題(2)「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、高齢者等実態調査について」は関連がありますので、事務局から一括して説明をお願いします。
	事務局(小池)	議題(1) 議題(2) 資料説明
	会長	ただ今の説明に対して、ご意見・ご質問はありませんか。
	前田委員	家族代表委員の前田と申します。調査方法について、今回から郵送回収に変わったわけですが、これまでは回収率100%に近い数字で回収できていたと思われませんが、郵送による回収だと(回収率が)落ちることが懸念されます。それぞれ何件郵送される見込みですか？
	事務局(前田恭)	郵送する件数についての質問にお答えします。若年者調査が1500件、一般高齢者調査と要介護者調査がそれぞれ1000件郵送する予定としており、50%の回収率で資料にある必要回答数を回収する見込みとしています。
	前田委員	必要回答数に足りない場合は職員の方が対応されるということですか。
	事務局(前田恭)	今までは民生委員の方達に協力いただいてほぼ100%でしたが、回答数が足りないということになりましたら、介護保険系の職員やケアマネジャー、その家族または皆さまに個別に依頼するなどして回収率を上げていきたいと思っておりますのでその時はご協力お願いいたします。
	北迫委員	民生委員の北迫です。 この調査に関しては私も過去に何度か実施しました。個人的には、自身の担当地区の方々を覚えるいい機会となると考えていますが、実際は民生委員のなり手も少ない中、「また調査があるんですか。この年末の忙しい時に…」と訴えてくる委員もいらっしゃいます。ですので、重要な調査ではありますが(一軒一軒訪問して聞き取る方法ではなく)他の調査方法が可能でしたら助かります。
	会長	ご意見ありがとうございます。私からも一点。 調査票は全部で3500件郵送することになるとと思いますが、返信用封筒は切手を貼った状態ですか？
	事務局(前田恭)	切手不要の返信用封筒を同封しますので、調査回答者が切手を準備する必要はありません。
	会長	他に質問ありませんか。ないようですので、議題(3)「本市の介護保険事業の特徴について」事務局から説明をお願いします。
	事務局(小池)	議題(3)資料説明
	会長	ただ今の説明に対して、ご意見・ご質問はありませんか。
	前田委員	8ページの認定率の説明の中で、「介護認定事務の適正化が図られているといえる」という説明だったんですが、そもそもなんでこんなに認定率が低いのか。本市以外では錦江町と南大隅町も低く、逆じゃないのかな？と思ったりしますが、認定率がなぜ低いのかその理由を分析されていれば(教えてください。)例えば要介護認定申請をする人が少ないのか、それとも申請をしても認められない方がいるのかとかそのあたりも教えてください。 2点目に、9ページについて施設系のサービス利用者が多く、高齢独居世帯の割合が高いと施設系サービスの受給率も高くなると説明がありましたが、理由がありましたら教えてください。

会議の経過		3点目に12頁のサービス別給付月額では介護老人福祉施設が低く介護老人保健施設が高いと説明がありましたがもう少し詳しく分析を教えてください。
	事務局 (前田恭)	<p>1点目については、垂水市が平成29年から取り組んでいる元気プロジェクトこれが介護予防の取組の一つとなっていると考えられます。あとは、65歳を過ぎても現役世代同様に農業や漁業の第1次産業に従事している方が多く、それ自体が介護予防になっているものと思われれます。</p> <p>また要介護認定の申請については、申請者から状態を聞き取りして、真に必要なかどうか、認定がおりるかどうかチェックリストを用いて申請を受け付けております。令和6年度は1056件の申請がありまして非該当は13件でした。</p> <p>2点目について、8頁の高齢独居世帯の割合を見ていただくと垂水市は高い状態です。高齢者の独居世帯が在宅で介護サービスを受けるのは難しいといえます。家族や親族の支援が得られにくく施設へ入居せざるを得ないと考えられます。</p> <p>3点目については、本市には特別養護老人ホームが1か所、老人保健施設が2か所あり、特養は人口比率に対して施設数が少なく、老健は人口比率に対して施設数が多いところです。特養が少ない分を老健施設で担っていただいております、需要も増加している、長期的な期間での入所、また老健施設の入所人数も多いことから、給付費が他と比較して上がっているものと考えられます。</p>
	前田委員	独居の方が受けられるサービスがないということでしょうか。高齢者が独居だと希望するサービスが受けられないというようなイメージがあります。錦江町や南大隅町も同じような要因でしょうか。
	事務局 (小池)	はっきりとした具体的な要因が見えているわけではないですが、想定される要因にはなりますが、認定率が低く元気な高齢者が多いと話した一方で、元気じゃない高齢者はどうするかといいますと、独居世帯が多いということは、家族である若い世代が近くにいないという地方の課題があります。家族が離れているとすぐに駆け付けられないため、施設系サービスの方が安心と考える方も多くいると感じています。そのようなことが要因のひとつとして考えられます。
	福元委員	垂水市・錦江町・南大隅町は確かに独居が多く、人口がどんどん減っている市町村であり、施設に入る方が多くなるのも理解できます。しかしながら人口が減っていったのに認定率は低くなるというのがなかなか想像がつかない。すぐ出る答えではないけれども、何か理由を見つけたら教えてください。
	事務局 (小池)	認定率の地域差については、他市町村にも話を聞くなどさらなる分析をしていきたいと思っております。
	会長	ほかにありませんか？ ないようですので、議題(4)「(4)高齢者自立支援施策の進捗状況について」事務局から説明をお願いします。
	事務局 (小池)	議題(4) 資料説明
	会長	ただ今の説明に対してご意見ご質問はありませんか。
	谷口委員	全体的な質問ですけども、今後の計画や新たな取り組みがあれば教えてください。
	事務局 (前田恭)	<p>第1回目の運営協議会で申し上げましたが、来年度予定しているものとして、市内介護事業所に従事する介護職員の資格取得及び更新等にかかる費用、その他スキルアップ研修受講に係る一部補助を行うことで介護事業所に従事する方の職場への定着を支援することを目的としております。</p> <p>先日、各市内の介護事業所へ来年度の予算計上のため、資格取得予定者を調査し、各事業所から回答をいただいたところ現時点で41の方が資格取得予定(受験)です。この補助金を利用していただき少しでも個人負担や事業所の経済的負担軽減につながればと考えていますので是非活用していただきたい</p>

会議の経過		と考えております。
	課長	(補足として) 説明でもあったように若年性認知症の映画オレンジランプを上映しましたが、この映画のDVDを貸し出します。サポーター養成講座や老人クラブサロンなどに貸し出しして認知症の普及ができればと考えています。GPS機器による徘徊の対応など少しでも認知症の理解が深まればと思い新たな取り組みとして紹介させていただきます。
	会長	私は予定があつて映画を見られなかったのですが、地域の方からも「すごくよかったよ」と評判を聞いております。1月に開始する地域食堂でも上映しようと思ひ、貸し出しを申請したところです。他のところでも貸し出しの予定がありますか。
	事務局(市木)	地域包括ケア系の市木と申します。映画のDVDの貸し出し状況ですが、現在牛根地区公民や高齢者サロンが申請を出しています。
	北迫委員	包括に申請すればいいのですか。
	事務局(市木)	来年度の9月までDVDを借りておりますので、貸し出し申請書を書いていただければ貸し出すことができます。
	会長	他に意見はありませんか。ないようですので、会次第4その他にまいります。まず事務局からなにかありませんか。
	事務局(小池)	参考資料「本市の有料老人ホームについて」「介護施設の未来を支える業務変革」説明
	池田正樹委員	介護職員代表の池田です。見守りカメラを導入されているということで、職員の見周りの手間も省けていいと思いますが、利用者からはプライバシーのことで苦情が出たりすることはないでしょうか。
	川越委員	今の質問に対して、30部屋ある中の1人部屋だけ本人の希望で設置していません。導入の狙いとしては、利用者への虐待がないか(の確認)、お部屋での転倒があるのでその際の現場検証に利用しています。転倒された映像なんかは直接ご家族にもお見せして説明しています。入居の時にカメラの説明をして了承を得ているので、今のところ苦情などはないです。
	福本委員	大変うらやましい話ですが、待機者がおり(常に満床状態の)施設と老健では施設の特徴が異なるので、設備投資をどこまでできるのかという問題が出てくる。労働者不足ということでICT化を真っ先に取り組むことは、正しい方向性だと思います。ただ、例えば建物を立て直すといったこともそのうち検討されることもあると思いますが、人口が減っていった利用者となる高齢者も減っていったという状況を見るに、設備にお金をかけてもその分費用が発生するわけで、自己の事業を縮めてしまうということになれば(大変なので)、ICT化を頭ではわかっているけど踏み出す勇気がないという状況です。
	池田正樹委員	質問というよりは情報ですが、調理食品の紹介がありましたが、コスモス苑の場合だと食事を作る業者が撤退しており、いよいよこういうものを利用しないといけなくなってきました。すごくいい仕組みだとは思いますが、やはり手作りのものに比べておいしいかと言われたら、そんなにおいしくないという意見あり、そこまで期待できないと思った方がいいのかなと思ってます。これは職員のちょっと本音でした。
	川越委員	私どもで導入している「なりコマ」さんですが、献立がすごく豊富です。以前はもともと刺身の提供はなかったんですが、お寿司の献立として提供できるようになりました。あとはもちろんいろんな形態で提供できます。エビがそのままはいっているのもあればつぶしたものが入っていたりとか。レトルト食品のイメージとして、それほど美味しくないというイメージが我々もありまし

会議の経過		<p>たが、実際試食したところ「あ、美味しい！」となりましたよ。メニューによってはお野菜がイマイチだったりすることもあります。人件費などのコストを全体的に見たときには、すごくよい商品だと思います。おやつも出ますがおいしいですよ。</p>		
	会長	<p>他にありませんか。 私から。議題(1)でありました調査について、回収率が50%という話がありましたが、50%という数字は、半分くらいは回答するだろうという予想の数字ですか。</p>		
	事務局 (小池)	<p>50%という数字に関しては、実際のところやってみないとわからないところではあります。この調査方法を検討する段階で県内の郵送調査をする市町村に聞き取りをしております。また委託する業者にも相談したところ、実は意外と高齢者はまじめに回答してくれる方が多く、50%くらいを見込んでいいだろうと。逆に若年者は働いていて忙しいということもあり30%くらいを見込んでいるところです。</p>		
	会長	<p>郵送による調査において回収率が心配なので、回答してくれた方の中から抽選でプレゼントが当たるなどをしてもいいかもしれないと思いました。また、委員の皆様にも調査票が届くかもしれないし、または近所に届くかもしれないので、皆様におかれてはできるだけ回収率を上げるようにご協力をお願いします。 他にありませんか。</p>		
	事務局 (市木)	<p>本日席に資料を配っておりますが、12月7日に市民館で認知症サポーター養成講座を開催するのでお知らせします。受け付けは地域包括支援センターで賜りますので、周りの方々へも周知いただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。</p>		
	会長	<p>最後に、民生委員の方々はなり手もいなくて大変だとききます。認知症サポーターがいるように「民生委員サポーター」という制度がある市町村もあると聞いています。垂水市でもそういった制度を検討されてもいいのかなと思いますので、検討をお願いします。 ほかにありませんか。 ないようなので本日の議題を終了します。委員の皆さま、ご協力ありがとうございました。司会を事務局へお返しします。</p>		
	事務局 (前田)	<p>池田会長、ありがとうございました。 最後に、次回の介護保険運営協議会は、令和8年7月に開催を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。それでは、以上をもちまして、令和7年度第2回介護保険運営協議会を終了します。 ありがとうございました。</p>		
会議結果	—			
会議録の作成方法	■ 録音媒体を使用した全文記録	特記事項	なし	